

サラリーマン大增税・医療制度改悪…ワァ!こんなに負担が!?

私たちの生活は どうなるの?



大企業の利益は右肩上がり、 働く者の賃金は右肩下がり!

「大企業の経常利益8.4%増」。鉄鋼、商社、自動車、総合化学、情報通信など多くの大企業が9月中間決算でバブル期を上回る史上最高益を計上し、3月期末決算を上方修正しています。この利益拡大の背景には、リストラ・人べらしと中国・アジア特需があります。

一方、働く者の賃金は、財界・大企業の「総額人件費抑制」策や人事院勧告などによって、このところ7年連続で減少し、民間給与の平均年収は439万円まで落ち込んでしまいました。フツの労働者世帯は、少ない収入をやりくりし、毎月の赤字をボーナスや残業代で穴埋めしています。大企業の利益拡大が中小零細企業や地域経済に及ばない原因がここにあります。

力を合わせれば 賃金は上げられる

今回の景気拡大は、大企業の設備投資の広がりに関連産業に波及して、年末のボーナスにも一部反映しています。財界の総本山・日本経団連も業績好調な企業に対して「賃上げ」などを促しており、06春闘は賃金・待遇の改善を迫る絶好のチャンスです。

この数年間、賃上げ要求を見送ってきた多くの労働組合が、「今年は賃上げ要求をする」と意気込んでいます。みんなで要求を提出し、みんなで力を合わせてたたかきましょう。

許すな!サラリーマン大增税、医療制度改悪

いま、小泉首相は、①所得税の定率減税の廃止や各種控除の見直しなどの「サラリーマン大增税」と、②高齢者の窓口負担1割から2割へ、風邪・腰痛などのクスリ代を保険給付から患者負担にするなどの「医療制度の大改悪」を狙っています。

これによる労働者の負担増は、税金だけで年間約42万円(年収500万円世帯)になると試算されています。したがって、相応の賃上げがないと、昨年並みの暮らしができなくなります。

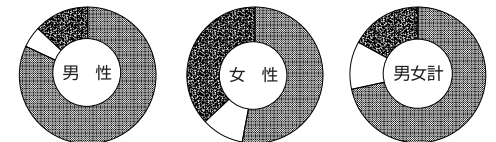
私たちはいま、政府に負担増の中止を求めるとともに、衆参議長宛に「大增税に反対する請願署名」と、「保険で安心してかかれる医療を求める請願」の個人署名に取りくんでいます。

パートや派遣 アルバイトでも時間給100円の賃金 引き上げを

ここで問題なのは、パート・アルバイト・派遣・契約・嘱託など非正規労働者の時間給引き上げです。いま、パートの平均時給は女性で833円、男性で1038円です。こうした非正規・時間給労働者の賃金を規定しているのが現行の地域別最低賃金で、全国平均では668円という安さです。

私たちは、すべての労働者の均等待遇を求める運動を進めていきます。同時に、「〇〇地域から1000円以下の賃金をなくそう」「06春闘では時給100円の引き上げを」と、全国の自治体や主要企業に要請します。こうした運動に、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

- 正規雇用を求めるフリーターは7割をこえる
- フリーターの類型別今後の職業生活についての希望



■定職に就きたい □続けたい ■その他

資料:リクルートワークス研究所「アルバイトの就労率に関する調査」(2000年)

全労連
ZENROREN

全国労働組合総連合 [2006.01]
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館内
TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620
ホームページ http://www.zenroren.gr.jp
労働相談は ☎フリーダイヤル 0120-378-060